

総務委員会報告資料

令和4年4月14日

報告事項件名	頁
1 令和3年衆議院議員選挙で起きたミスに対する再発防止策について・・・・・・・・	2

(選挙管理委員会事務局)

総務委員会報告資料

令和4年4月14日

件名	令和3年衆議院議員選挙で起きたミスに対する再発防止策について
所管部課	選挙管理委員会事務局
内容	<p>衆議院議員選挙で発生したミスに対する再発防止策を、令和4年夏執行の参議院議員選挙及び次回の衆議院議員選挙に向け下記のとおり実施していく。</p> <p>1 区職員の選挙への意識向上</p> <p>今回の選挙では、「投票箱の降ろし忘れ」や「投票種別の誤案内」など、職員の意識不足によるミスが多発した。選挙への意識付けを強化するため、下記対策を講じる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1・2・3年目職員は原則選挙事務に従事させる。 ② 新規採用職員及び2・3年目職員で選挙未経験の職員に対する「選挙の心構えや基礎知識に関する集合研修」を実施する。 ③ ②対象者に対する選挙直前の、各所属の係長等による「投・開票事務諸注意事項OJT」を実施する。 ④ 投・開票従事職員全員を対象に集合研修を実施し、ミスの事例及びミスがもたらす影響の大きさを強調して伝える。 <p>2 各ミスに対する再発防止策</p> <p>(1) 投票種別の案内誤り（当日投票）</p> <p>小選挙区の投票用紙を交付する際、<u>選挙人1名に誤って政党名を記入するよう案内し、選挙人は政党名を記入し投函した。</u></p> <p>【対策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 用紙交付係の目につきやすいところに、<u>案内する内容を記載した表示を貼る。（資料1「用紙交付係案内内容表示」参照）</u> ② <u>選挙前に、心構えや基礎的な内容を含めた集合研修を実施する。</u> ③ <u>案内誤りのようなミスを防ぐため、可能な限り役割の交代はなしとする。休憩等やむを得ず交代する場合は、引継ぎを徹底する。</u> <p>(2) 投票用紙の他選挙区投票箱への誤投函への対策（期日前投票）</p> <p>期日前投票所において、<u>13区の選挙人1名が小選挙区の投票用紙を、誤って12区の投票箱に投函した事案が1件、13区の選挙人1名が、比例代表及び最高裁判所国民審査の投票用紙を誤って12区の投票箱に投函した事案が1件発生した。</u></p>

【対策】

- ① 可能な限り受け付ける選挙区ごとに部屋を用意する。
- ② パーテーション等を効果的に活用し、他選挙区エリアへの進入を防ぐ。
- ③ 投票箱への貼り紙等により、選挙区ごとに差別化する。
(資料2「投票箱に貼付する選挙区の表示」参照)
- ④ 選挙人への配慮等に関する集合研修を実施する。

(3) 投票箱の降ろし忘れ (開票)

1つの投票所で、投票箱を総合スポーツセンターに送致した際、送致車両から3箱中1箱しか降ろさないまま投票所へ戻り、残りの2箱を改めて送致した。そのため開票開始が35分遅れた。

【対策】

- ① 開票所の投票箱等送致車両停車位置に、投票箱を降ろしたことをチェックする人員を配置する。投票箱を開票会場へ運搬する係は、チェックしたことを確認してから運搬する。
(資料3「開票所における投票箱受渡しの流れ」参照)
- ② 投票箱等の送致車両を各投票所1台に変更し、送致車両を明確にする。また、投票箱を乗せる位置をトランク以外の見やすい場所にする。
※ 投票箱の数は全投票所同じ (参院選の場合は2箱)。
- ③ 投票事務処理要領に「投票箱を渡す」業務を明記し、説明会で投票所の主任・副主任へ強調して説明する。

(4) 投票録の記入誤りによる投・開票数の不一致 (開票)

1つの投票区の投票録の「男性投票者数」及び「総投票者数」に誤記入があった。更に、開票所における投票録チェックで気づかず、誤った数値で投票結果を作成した。

小選挙区の最終確定時に投・開票数が一致せず、上記誤りを見つけるのに約1時間を要し、開票の遅れにつながった。

【対策】

- ① 投票所主任・副主任説明会で今回のミスの事例も含め、直接説明を行う。(現在は事務処理要領のみで説明)
- ② 開票日前に開票所での投票録チェック方法等の説明会・打ち合わせ会を実施する。(現在は当日にのみ事前説明を実施)
- ③ 投票録をチェックする職員は、原則固定メンバーとする。

	<p>(5) 集計担当係への票持ち込み漏れによる投・開票数の不一致（開票） 国民審査について、<u>疑問票を取り扱う審査係で作成した票束を、票を集計する検査調整係へ持ち込まず積載台に積んでしまった。</u> 結果開票数が少なく、集計していない票束を探すのに約1時間を要した。</p> <p>【対策】</p> <p>① 500票を束ねる個票に、<u>集計を担当する係の確認欄</u>を設ける。（今まではチェックする欄がなかった。） <u>（資料4「集計担当係の確認欄を設けた個票」参照）</u></p> <p>② <u>各係に「事務フローの作成・更新」「引継ぎ」を徹底させ、</u> 選管は衆院選の都度進捗を確認する。</p> <p>③ 開票日前日までに、各係の国民審査を担当する職員で打ち合わせを行う。</p>
今後の方針	上記対策を講じ、今後執行する選挙で同様のミスが発生しないよう注意していく。

資料1 用紙交付係案内内容表示(従事職員用・手元に貼る)

「小選挙区選出です。
候補者氏名をお書きください。」
と、ご案内する。

- ① 入場整理券の【12区(緑)】【13区(青)】を確認
 - ② 白黒の再発行入場整理券の場合は、表面の12区・13区の○を確認
 - ③ 名簿対照欄に済印があるかを必ず確認
- ※ 押されていない場合は主任・副主任に連絡すること。

資料2 投票箱に貼付する選挙区の表示



「12区」「13区」を大きく目立つ文字等で分かるようにする。

